



政友会 代表質問

岩崎 隆寿 議員

将来ビジョンにおける 財政問題への対策は

【質問】 合併10年を経過し本市もこれからが本当の意味での正念場を迎えることになるが、財政問題への対応として、歳出削減についてどのように考えているか。

【市長】 類似団体等の分析を参考にしながら平成31年度までの予算規模について見直しを行なった。また、国の経済対策も合算して、財政計画の26年度よりも上回る水準とした。

【質問】 本市では、毎年1000人の人口が減少しているのが現状である。このままでは生産人口が減少し、地域経済が成り立たなくなると、負のスパイラルに落ち込むことが予想される。子

を持つ親が安心して子どもを預けられるとともに、経済的にも負担が少なくなるように対応することが大切である。その対応策は、

【市長】 本市では3人目以降の保育園児から保育料を無料化してきたが、この4月から、対象を拡大して2人目以降から無料化する。また、保育料の額については、平均一人1万4131円と、県内20市の中で一番低い保育料となっている。

【質問】 ブロードバンド（※）インフラの整備、利活用について、高千・外海府地区における地域振興策として必要である。また、国はICTの恩恵を迅速、公平、十分に実感、享受できる豊かな社会の実現を目指すため、2015年頃を目途にすべての世帯でブロードバンド利用を実現するという

目標を掲げている。この基盤整備の事業費の一部補助を四月から公募をするが、本市も早急に検討すべきと考えるがいかがか。

【市長】 超高速ブロードバンドが必要とされていると聞いていますが、民間事業者のNTTにおいては、外海府、内海府、前浜地区については、未だエリア拡大に至っていないのが現状である。NTTに対し、今後とも超高速化に向け、エリア拡大整備について、継続的に要望する。

【質問】 ブロードバンドとは…
※ブロードバンドとは…
高速・大容量のデータ通信が可能な回線のこと。ADSLや光ファイバーなどの高速通信回線を指す。

一般質問

笠井 正信 議員

佐渡の自然の恵みを生かした 島づくりを具体的に問う

【質問】 付加価値の高い産業、観光等交流人口の拡大、にぎわいの島づくりを中心に成長力強化を図ると言われるが、具体的に問う。

【市長】 高付加価値の産業育成等行政企業関係団体が一体となった営業活動を行う「チーム佐渡」を立ち上げ、一層努力する。

【質問】 新保川ダムの推進経過を問う。

【市長】 ダム事業継続の決定以降、共有地の取得を、個別対応から、地縁団体に土地の名義を移転し用地取得という手法に切り替え、治水対策、利水の観点から早急に整備が必要と認識し、県に早期着工を強く要望する。

【質問】 地域資源活用調査及び実証事業の経過を問う。

【市長】 佐渡における自然エネルギーを活用した真のエコアイルランドの実現にむけ、今、進

めている。
【質問】 北埠頭で建設している佐渡インフォメーションセンターを活用し、地域住民の交流促進や観光の振興を通じて地域の活性化に資することを目的とした、「海の駅」又は「みなとオアシス」として位置づけられないか。

【市長】 27年3月オープンに向けて進めている。佐渡の玄関口の立地条件を生かし、各種の国際会議、シンポジウムを誘致し、佐渡の文化・歴史・人物を紹介する2階には人間国宝等の展示を行う。さらに郷土芸能や料理教

【質問】 伝統芸能保存事業において不適切な支出があったがその真相は。
【市長】 実行委員会に対し、負担金の交付決定の一部取消し、負担金の返還を命じ、あわせて加算金を徴収する。
【質問】 この不適切な支出は、横領に値するか。
【世界遺産推進課長】 加算金の徴収をもって損害賠償の代わりという位置付けになり、これ以上のことは求めない。



佐渡インフォメーションセンターイメージ

室、体験イベント、佐渡産品の販売も計画をしている。議員提案のみならずオアシスの申請を計画し、国と事前協議をする。
【質問】 少子化対策の二環として、未満児の預かり所を増やせ。
【市長】 未満児保育のニーズは高まっている。保育士の補充をするなどして現在対応している。

一般質問

市の防災計画、若者支援、ネット活用について問う

山田 伸之 議員



質問 「防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が国会で成立し、市においても「国土強靱化地域計画」を策定する必要がある。この計画は、短期では雇用・投資に結びつかないので長期の計画を立てるべき。それによって、仕事を生み出し雇用や投資を促して経済活性化を図るとともに、合わせて防災力・災害復旧力の維持向上にも努めるべき。

市長 単年度ではなく、ある程度長いスパンのもとに、各事業者が自力で投資ができるという判断ができる材料を与えていきたい。

質問 ニート等の若者の就業支援を行っている、三条地域若者サポートステーションの出張所・佐渡サテライトの支援を昨年9月の一般質問で求め、新年度予

算に反映されたことを高く評価する。今後も市が主体となつて各機関と連携し、更なる若者支援に取り組むべき。

市長 佐渡サテライトは非常に高い実績があつており、スタッフ増員などを支援する費用を新年度予算に計上した。今後は、新たに設置する「子ども若者相談センター」等との連携を強化し、雇用につなげていきたい。

市長 ネットを活用した佐渡の売り込みを図るべき。島内企業・団体とタイアップして佐渡の特産品を集めたサイトをつくる。商品だけでなく観光案内、旅行プランの申し込みやホテル・旅館の予約もできるような「当地サイト佐渡」をつくつて、オール佐渡で全国に売り込んでいく。このよ

うにネットを情報発信だけでなく販売も含めた活用をしていくため、市にIT戦略室を設置すべき。

市長 確かに佐渡丸ごとネット販売は必要であるが、既に関連した活動をしている団体もある。そのこと、どのように連携して進めていくかが大事であり、広報戦略官と話しながら1年間かけて検討し、必要なら平成27年度予算に反映させた



一般質問

畜産振興で「高千の牛市を守れ」

村川 四郎 議員



質問 佐渡の畜産の現状は、年3回開催されている高千の牛市が存続か否かの危機的状況である。畜産は耕畜連携で昔から稲作、果樹と農業の3本柱で畜産業の危機は、佐渡の農業の危機とも言える。「高千の牛市」を守るため短期、長期の増頭支援策を喫緊の課題として実行すべきである。

市長 佐渡の肉用牛振興は、単なる畜産業だけではなく、観光や地産地消の視点からも非常に大事な問題である。計画では平成32年の肉用牛の目標頭数を580頭と定めて、導入、増頭支援策、施設の増改築、飼料入手への支援を継続する。またJAの肉用牛中核育成センターや相川地区の草地12ヘクタールの活用方法についてJAと検討している。

質問 佐渡漁協 西浦出張所使途不明金問題の内容と市の指導、監督責任について説明を求める。

市長 漁協の使途不明金問題は、日頃の甘い姿勢が招いた結果だと考えており、その点でおわびを申し上げる。この交付金は、離島の漁業再生活動のため平成17年度から始まり、27漁業集落で実施をされている。西浦漁業集落では、平成20年から24年の5カ年で1320万4391円が市に提出された報告書、漁業監視日誌、請求書、領収書、会議録、通帳写しなどが改ざんされていた事を確認し、県、国に報告して今後の対応を協議している。今後は漁業集落と連携し複数のチェック体制とするとともに、現金は扱わず振り込み処理、本所指導員のチェ

市長 12月議会で否決した小木・羽茂のB&G施設のように、市の指定管理者制度に多くの疑問が判明した。指定管理者制度導入の適否の判断や指定管理後に、市が民間譲渡した施設が営業中止した場合の責任と施設の扱いはどうなるのか。

市長 管理者の選定は、公募を原則として審査基準を定めながら知識経験者から成る委員会を審議をし、総合的に判断をして決定している。指定管理料は過去の実績を考慮し、算出した基準額を公募の際に公表して、その範囲内で公募を決定する。民間譲渡した施設のその後は、譲渡時に交わした契約書条項に沿うことになる。

ック、年2回の監査の徹底等を図る。

み処理、本所指導員のチェ

になる。

になる。

一般質問

希望退職者が異常 定年まで働ける体制を

大森 幸平 議員



【質問】 昨年度76人退職（定年27人）、今年度40数人（定年16人）、2年間で約120人の職員が退職した。その原因は何か。

【総務課長】 2年間で約120人の職員が退職した。定年退職者（43人）以外は家庭の事情や健康上の問題によるものと認識している。

【質問】 ここ数年、国において年度を超える経済対策が計画され、3月議会で大幅な補正が生まれ、翌年度に全額繰り越している。職員はこの処理等に追われ、本来実施すべき佐渡市の予算執行が遅れるという実態はないか。

【総務課長】 議員指摘の国の経済対策の影響で繰越額が多くなるという実態はある。

【質問】 職員の希望退職が多いのは家庭の事情や健康問

題と分析しているが、もう少し詳細に分析すべきである。職員には定年まで働いてほしい。そのことによつて佐渡市の行政がスムーズにいく、この体制は何としても維持をしなければなら

【市長】 議員はそのことばかり力説されるが、私も希望退職したいという人を懸命に引き留めている。何でもかんでもやめさせているわけでもない。理解をいただきたい。

【質問】 将来ビジョンの職員数1176人（特殊事情の人数を含む）は佐渡市の業務遂行上必要な人数であるか。

【行政改革課長】 類団に比べて島ゆえの特殊事情、消防の体制維持、支所等の地域の拠点としての役割等を考慮し、平成31年に必要な人数

として計画した。

【質問】 財政計画上の人件費の扱いはどうなっているか。

【総務課長】 人件費の内訳を積み上げて試算したものでない。ビジョンにおいては特殊事情による職員数は人件費に加味されていない。

【質問】 職員数1176人は必要。財政計画では総額を決めている。特殊事情による職員数は人件費に加味されていない。職員の賃金は総額を人数で割って決まるのか。そんなことが許されるのか。

【市長】 そういうことは決まっていない。平成31年度に予算を150億円落とさなければならぬ。緊急事態

だ。労使交渉も重ね一致団結した取組みをしている。

一般質問

両津病院の高台移築を 急いで検討すべきだ

加賀 博昭 議員



【質問】 資料ナンバー14は今年から20年前の「加賀博昭両津市政報告265号」である。内容は、財政的に困難な中で両津病院、特養歌代の里、すこやか両津の3点セットを完成させた記録である。お陰で、病院で121人、歌代の里で69人、すこやか両津で80人、合計2

70人に15億9000万円の給料を支払い、外注を含めて18億円の経済効果を上げている。これを国の方針に基づいて高台に移す必要がある。その際、ミニ特養、ミニ老健を隣接して建設すべきだ。

【市長】 資料ナンバー14を全部読んだが、大変勉強になった。両津病院の耐震結果を見て検討するが、詳細は両津病院管理部長に答弁させる。

【質問】 観光客が佐渡を離れる際必ず立ち寄るのが「佐渡シータウン商店街」だ。客は「これぞ佐渡土産」というものはないかと聞く。そこで私が考えたのが「ぜんまい、昆布、あごだし煮しめ」セットだ。ホテルでも料理に出し、店では宣伝販売する。爆発的に売れると思うが、如何か。

【両津病院管理部長】 耐震診断で補強工事が必要と出た場合、騒音や振動のする工事は困難である。病院の耐用年数39年もあと7年である。地盤高3.1メートルを考えると、津波等の浸水があれば地下の熱電装置は機能を失うので、診断結果次第では、早急に関係機関や関係部局と調整、協議を図り

たいと考えている。



両津病院

今一所懸命にやっている。戦略がない、戦術がない、言われればそれまでだが、指摘された方向で一所懸命取り組んでいるところである。

一般質問

荒井 眞理 議員

公金を充当する事業の審査は しっかり、厳しく



〔質問〕 県内では佐渡市以外の市町村が非核平和宣言をしている。佐渡市非核平和の市長宣言を出さないか。

市長 非核への市民の機運が盛り上がり、平和都市宣言の機運が醸成されたと判断している。

〔質問〕 金山の町佐渡相川の伝統芸能とまつり保存実行委員会が機能せず、事業が失敗した原因は、芸能継承者を実行委員会に入れなかったことにあると認めるか。過去に二つの公文書で伝統継承者に詫びている。それを踏まえなかったために3回目同じことが起きてしまったのではないか。

世界遺産推進課長 非常に認識不足で反省している。もう二度とこのようなことが起こらないようにしたい。

〔質問〕 はんが甲子園でのやわらぎ上演について、実行委員

会担当者が佐渡国・草の会に依頼した件は承知しているか。

社会教育課長 承知していないか。

〔質問〕 実在する物は探そうと思えば確認できたのになぜしなかったのか。

社会教育課長 事務局も把握できなかった内容を我々が知るすべがなかった。

〔質問〕 方法は幾らでもある。非常に不注意である。12月議会の一般質問にも結果的に事実と違う答弁を繰り返すことになった。議会や市民を混乱させる。はんが甲子園がやわらぎ出演に6万8千円の謝礼を払った件も、領収書に疑念があるのを調査していただきたい。

社会教育課長 はんが甲子園

実行委員会担当者がお持ちだと確認した。

〔質問〕 そのコピーをいただけるか。

社会教育課長 要請してみる。

〔質問〕 映像記録編集を請け負った団体の架空請求詐欺が疑われ犯罪ではないか。

市長 犯罪に当たるか分からないが、弁護士とも確認する。

〔質問〕 保存実行委員会の提出した領収書には偽造された物が含まれているが。

世界遺産推進課長 結果的に12月議会で事実と違うことを説明した点について大変申し訳なく思っている。

〔質問〕 議会で課長に事実と違う答弁をさせる人物にはなんらかのペナルティーを。

〔質問〕 新庁舎の建設は既存施設を活用すべきである。借金を重ねて作らなければならぬような庁舎は、正に砂上の楼閣であって、絶対に建設すべきではない。金井に建設しなければならぬという考えはどうか。

市長 合併協定書において、新庁舎の位置は「金井町千種沖地区」、事務所の位置は「現在の金井町役場とする」と明記されている。このことは尊重しなければならない。防災及び合併特例債の活用等の観点から、現庁舎を生かしながら、その周辺に新たに足りない部分の新庁舎を増設するという方針で、進めていきたい。借地の解消については、議会から強く指摘を受けているので、当然進めていかなければならない。これらの問題については、ホテル業界とも話をし、じっくりと取り組まなければならない。

一般質問

大澤 祐治郎 議員

新庁舎は砂上の楼閣である



も変わらないのか。

市長 合併協定書において、新庁舎の位置は「金井町千種沖地区」、事務所の位置は「現在の金井町役場とする」と明記されている。このことは尊重しなければならない。防災及び合併特例債の活用等の観点から、現庁舎を生かしながら、その周辺に新たに足りない部分の新庁舎を増設するという方針で、進めていきたい。借地の解消については、議会から強く指摘を受けているので、当然進めていかなければならない。これらの問題については、ホテル業界とも話をし、じっくりと取り組まなければならない。

〔質問〕 観光に幅

〔質問〕 観光に幅

をもたせ観光客を誘致できる水族館を、佐渡市に是非ともつくってもらいたい。

市長 水族館については、佐渡への入口である新潟市と上越市に既に存在している。したがって、閉古鳥が鳴くような水族館をつくってもうまくないと懸念している。

〔質問〕 島内にホテルが不足している。合併特例債があるうちに、思い切って佐渡市がつくって、観光活性化につなげられないか。

市長 観光ホテルについては、現在、3500人から4000人のキャパシカなので、耐震に対しての支援をしなければならぬ。これらの問題については、ホテル業界とも話をし、じっくりと取り組まなければならない。



市役所本庁舎